

第五十一回帝國議會
衆議院

郵便年金法案(政府提出)外一件(郵便年金特別會計法案(政府提出))委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正十五年三月六日(土曜日)午前十時
四十九分開會

出席委員左ノ如シ

委員長 作間 耕逸君

理事 戶田 由美君

理事 濱田 精藏君

理事 上原 好雄君

平野 光雄君 中原德太郎君

深井 功君 石塚 三郎君

若宮 貞夫君 青木 精一君

古川 清君 今井 健彦君

平田民之助君 富田愿之助君

佐藤 重遠君 山口 左一君

三月五日委員米原於菟男君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日今井健彦君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逕信大臣 安達 謙藏君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍主計總監 三井清一郎君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

逕信參與官 川崎 克君

簡易保險局長 今井田清徳君

本日ノ會議ニ上タリ議案左ノ如シ

郵便年金法案(政府提出)

郵便年金特別會計法案(政府提出)

○作間委員長 是ヨリ開會致シマス、

前々會ニ留保セラレマシタ濱田君カラ

ノ商工省府委員並陸軍省ノ政府委員ニ對スル質問ヲ許スコトニシマス、丁度商工省ノ政府委員ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、先ヅ商工省ノ政府委員ニ對スル質問ヲ御願致シマス

○濱田委員 商工省ノ當局ニ出席ヲ願ヒマシタノハ、例ノ保險官營ノ説ガアルト云フコトニ付キマシテ、ドウ云フ御考デアアルカ、ソレハ一片ノ風説ニ過ギナイカ、商工大臣カラサウ云フ意志デアアルト云フコトヲ内々言明サレタヤウニモ記憶シテ居リマスガ、ハッキリシマセヌノデ、態々御出ヲ願フタノデアリマス、此ノ保險官營ト云フコトハ早クカラ一部ニハ唱ヘラレタ問題デアリマシテ、此官營ト云フコトハ早晚私ハ問題ニナツテ來ハセヌカト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ御考慮中デアアルカ、又御考慮中デアアルナラバ成ベク急イデアアルト云フ御考デアアルカ、ボツ／＼ト調査スル位ノ程度デアアルカ、其點ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○柵瀬政府委員 濱田君ノ御尋ノ保險官營ノ事ハ、言葉ノ上デハ極メテ簡單デアリマススケレドモ、其利害得失及影響ノ範圍ト云フモノガ、極メテ廣汎且ツ重大デアリマス、商工省ニ私ハ這入ッテ尙ホ日ハ淺イノデアリマススケレドモ、

ソレ／＼此利害得失ニ付テノ調査ハアルヤウデアリマス、併ナガラ今日ノ所デハ之ヲ官營ニスルト云フコトノ方針ハ決定シテ居リマシマス、大臣ガ何カノ機會デサウ云フコトヲ申シタト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、恐ラクハサウ云フ事ハ申ス筈ハナカラウト私ハ思フ、將來ドウ云フコトニナリマスガ、差當ツテハアリマセヌ、唯調査ハソレゾ進メタコトモアリマス、又考慮シタ場合モアルヤウデアリマスガ、全然其方針ト云フモノハ一定致シテ居リマセヌ

○濱田委員 實ハ此二三日前某有力ナル保險會社ノ重役ニ會ヒマシタ所ガ、ドウモ片岡大臣ガソウ云フ考ヲ持ッテ居ラレルヤウダ、サウ云フ御話モ聞イタヤウデアアルト云フコトヲ、明ニ其重役ガ申シテ居リマシタノデ、ソレト私モ十年前位前保險ニ關係致シテ居リマシタノデ、此事ハ考ヘヤウニ依テハ只今次官カラ御答ノアツタヤウニ、非常ナ重要ナ問題デアアルト思ヒマスガ、ソレ故ニ今御尋致シマシタノデ、サウスルトサウ云フ事モ考ヘタコトガアル、又調査ヲシタコトモアルト云フ位ノ程度ト承知致シテ宜シウゴザイマス

○柵瀬政府委員 御尋ノ通りデアリマス、今モ申上ゲタ通り其影響スベキ範圍ガ極メテ廣汎デアリマスカラ、財政

上、公債政策等ニモ影響ヲ持チ、財界ニモ從ツテ種々ナル波動ヲ起スト云フコトニナリマスカラ、之ヲ處置致シマスニハ慎重ナル態度、嚴密ナル調査ノ上ニヤラナケレバナラヌ事ト信ジテ居リマスカラ、多少國營ト云フ見地カラ其利害得失ニ付テノ調査ヲ致シタモノハアルヤウデアリマス、又現ニ其事ニ付テ調査ヲ進メヤウトハ思ヒマススケレドモ、併シソレガ爲ニ直チニ取ツテ以テソレガ方針デアアルト云フコトヲ、明言スル時機ニ達シテ居リマセヌ

○作間委員長 中原君、商工省ノ方ニ御質問ガゴザイマスレバ——(陸軍省ノ方ハ居ナイノデスカ)ト呼フ者アリ)今呼ビニ行ツテ居ラレマス

〔速記中止〕

○平田委員 今私ハ彼方ニ行ツテ伺ヒマシテ大抵分リマシタガ、一寸此處ニ分ラヌ事ガゴザイマス、此事業要項ノ中デ最高額ハ二千四百圓デゴザイマスケレドモ、最低額ノ掛金分割拂百二十圓、掛金一時拂十二圓トシテアルノハ、アレハ何デゴザイマスガ、例ヲ舉ゲテ言ヘバマアドウ云フコトニナリマス

カ、一寸分リマセヌカラ……

○今井田簡易保險局長 是ハ掛金ノ拂込ノ方法ニ依リマシテ區別シタモノデアリマス、掛金分割拂ト申スノハ据置

年金デ何年カ、例へバ五十歳カラ年金ヲ貰ヒタイ人ガ三十歳カラ入ルト、三十歳カラ毎年幾分ヅ、掛ケテ行ク年金デアル、一時拂ト申スノハ一度ニ五十歳開始ノ三十歳ニ入ツタ時ニ全部ヲ掛ケル、サウ云フ拂込方法ニ依テ區別シテヤルト云フモノデアリマス

○濱田委員 此前、一昨日デアリマシタカ、陸軍當局ノ御出席ヲ御願致シマシタガ、是ハ實ハ新聞デ承認シタコトデアリマス、近頃新聞紙上ニ徴兵ヲ免レタ者ニ免役税ト云フヤウナモノヲ課スルト云フ説ガアル、之ニ對シテ陸軍當局ハ兵役ヲ免レタ者ニ金錢ヲ出サセテ、如何ニモ代償ヲスルト云フヤウナコトハ、陸軍ト云フ其使命ヲ何カ金錢ニ代ヘルト云フ意味ニモナツテ甚ダ面白クナイ、ソレヨリモ一種ノ徴兵保險見タイナモノヲヤッタ方ガ宜イトノ意見ヲ陸軍省ガ御持チニナツテ、多少ノ御調ベガアルト云フヤウナ記事モ二三見エマシタ、是ガ爲ニ只今民間デヤツテ居リマス徴兵保險ノ營業者ハ、多少頭ヲ悩マシテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、目下現存シテ居ル一二ノ徴兵保險會社ナルモノハ、極メテ順當ニ發達シテ居ルノデ、若シ果シテ陸軍省ニ於テ之ニ御考慮ヲ拂ハレテアルナラバ、寧ロ現在ノ民間ノ會社ニ左様ノコトヲヤラシテ、陸軍省カラソレノ斯ウ云フヤウニシタラドウカト云フヤウナ御指導ガアツタナラバ、ソレニ類似ノモノガ

出來ハシナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、之ニ付テ當局ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカ、之ヲ伺ヘレバ大變結構ト存ジマス

○三井政府委員 濱田君ノ御質問ハ新聞ニ依テト云フコトデアリマシタガ、當局トシテハ左様ナ意見ヲ公表シタコトハナイノデアリマス、非役壯丁税ハ議院カラモ意見ノ出タコトモアリ、軍部デハ研究ハシテ居リマスガ、是ハ今御述ベニナツタヤウナ趣旨デ、精神的面カラ云フテ餘程ムツカシイ、隨テ保險制度ヲ以テ之ニ代ヘヤウト云フコトモ、何等考ヘテ居リマセヌ

○青木委員 簡單ニ遞信大臣ニ御伺シテ置キマスガ、先日來濱田君カラ此郵便年金制度ノ組織ヲ、何故簡易保險ト同一ノ組織ノ下ニ經營シナイカト云フ質問ガアツテ、ソレニ對スル政府ノ答辯デ一應ハ分リマシタガ、マダ納得出來ナイノデアリマシテ、同ジ遞信省ノ中ニ於テ、目的ハ多少違フニシテモ、等シク社會政策的ノ事業デアル所ノ年金法ヲ、又別箇ノ特別會計ニセラレル理由ハ何處ニアルノデアルカ、簡易保險ノ特別會計法ニ適當ノ改正ヲ施シタナラバ、同一ノ組織ノ下ニ統一シタル經營ガ出來ルノデアアルマイカト私ハ考ヘタルノデアリマス、此點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 是ハ簡易保險ト種類ヲ異ニシテ居ルカラ、ソレデ特別會計ニシタモノデアリマス、當局トシテモ特別會計ヲ多ク持ツト云フコトハ避ケタイノデアリマスケレドモ、元來全ク種類、性質ヲ異ニシテ居ルモノデアルカラ、特別ノ取扱ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ内容ヲ悉皆御調ベニナルト能ク分ルト思ヒマスガ、第一計算カラシテ何モカモ違ッテ居リ、加入スル者モ亦性質ヲ異ニシテ居ル、又金ノ運用ニ付テモ簡易保險ハ資金還元ト云フコトデヤラナケレバナラヌモノデ、サウ云フ點カラモ違ッテ居ルノデアリマヌ

○青木委員 其點ガ性質ヲ異ニシテ居ツタ所ガ、簡易保險局デ仕事ノ組織ヲ同ジ特別會計ノ下ニ於テモ組織トカ仕事ノ系統ヲ別ニシタナラバ出來ナイコトハ無カラウト、私ハ素人デアリマスカラ役所ノ内部ノコトモ分リマセヌガ、斯ウ云フコトハ民衆ノ理解ヲ以テ相共ニ成績ヲ擧ゲテ行クベキ、效果ヲ擧ゲテ行クベキ性質ノモノデアリマスカラ、却テ吾々素人ノ疑問ヲ解イテ戴クノガ肝要ト思ヒマス、如何ニモドウモ外部カラ見テ遞信省ノ中ニ於テ特別會計法ヲ二ツ構成スルト云フヤウナコトハ、何ダカ役所ニ於テ仕事ヲ多クシヤウ、局課ヲ擴メヤウト云フヤウナ事ニ因ハレタ、一種ノ役所の氣分ヲ此上ニ現ハシテ來テ居ルヤウニ見エテナラナイノデス

○安達國務大臣 民衆ノ諒解ヲ得ルト云フコトニ付テハ、特別會計ニシタ爲ニ民衆ニ諒解セラレナイ、誤解ヲサレルト云フコトハ無カラウ、殊ニ役所ノ氣分ニ因ハレナイヤウニスルコトハ、私全然同感デ、私ハ成ベクサウ云フコトヲ主張シタイト努メテ居ル、之ヲ特別會計ニスルトカ、セヌトカデ、官僚トカ民衆ニ諒解ヲ與ヘナイト云フコトハ萬ナイト思フ、是ハ特別會計ニシテ置イタ方ガ、一般ニ對シテ此年金ノ必要ナルコトヲ宣傳スル場合ニ、加入者ハ安心スルダラウト考ヘル、必シモ混合シタ爲ニ民衆ノ共鳴ヲ得ルト云フコトハアルマイト思フ、全ク種類ガ違ッテ居リ取扱モ變ッテ居ル、ソレダカラ之ヲ別ニスルト云フコトハ當然ト思ヒマス

○若宮委員 折角青木君ノ質問中デゴザイマスケレドモ、兩人ノ間ニ話合ガ付キマシタカラ、モウ少シ御説明ヲ願フテ宜シウゴザイマス

○作間委員長 宜シウゴザイマス

○若宮委員 只今御説明ノ點ヲモウ少シ丁寧ニ御説明願ヒタイト思フノデス、ソレハ只今遞信大臣ノ仰シヤッタ通り、特別會計ガ澤山アルコトハ、政社全體トシテ、又一省トシテ見テモ餘リ好マシクナイヤウニ思フ、出來ルダケ一緒ノモノニナリ得ルナラバ、一緒ニシタ方ガ宜カラウカト吾々共考ヘルノデス、就キマシテハ只今ノ大臣ノ御説明デハ是非置カネバナラヌト云フ事ノ理由ハ一寸判然致サナイ、尙ホ置カナケ

レバナラヌト云フコトヲモウ少シ詳シク御説明願ヒタイ、其一例ヲ申上ゲルト云フト、性質ガ違フ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマスケレドモ、性質ガ違フタ所デ一緒ニナラヌト云フ理窟ハナイノデス、又他ノ例ヲ申シテモ資金ノ運用ノヤリ方ハ違フト仰シヤッタケレドモ、資金ノ運用ノ仕方ト云フモノハ、現在アリマス簡易保険ノ中デモ資金運用ガ全部積立金トシテアル譯デモナク、又一緒ニ出テ居ル譯デハナイノデス、或ハ公債ヲ購入サレテ居ル場合、或ハ預金部ニ預ケラレテ居ル場合、或ハ種々ノ方面ニ貸付ラレテ居ル、ソレデ一向差支ナクヤッテ居ル、サウ致シマスト云フト、簡易保険ヨリ生ズル資金ノ運用ノ方法ハ斯ウダ、年金ヨリ生ズル所ノ積立金ノ運用方法ハ斯ウダ、斯ウ云フコトヲ御決メニナレバ一向差支ナイヤウニ思ハレル、是非置カナケレバナラヌト云フ根柢ノ理由ノ説明ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 根柢ノ理由ト云フノハ、簡單明白ニ申上ゲマスト、計算ノ基礎ガ簡易保険トハ違ッテ居ル、ソレガ第一、ソレカラ資金ノ運用ノ取扱ガ區別シテアル、ソレカラ加入者ノ種類モ違ッテ居ル、ソレガ根本ノ違フ理由ニナルダラウト思フ

○若宮委員 私ノ御尋シタイコトヲ他ノ方面カラ言葉ヲ換ヘテ伺ッテ見ルトハッキリスルト思ヒマスガ、此年金ニ關

スル特別會計ノ規定ト、ソレカラ簡易保險特別會計ノ規定ト、ドノ點ガ違フノデスカ

○安達國務大臣 其計算ノ基礎ト、資金運用ノ取扱法ト云フヤウナモノガ違フ所以デス

○今井田政府委員 只今御質問ノ簡易保險ト郵便年金ノ特別會計ノ違フ所ハ何處ダト云フ事デアリマシタガ、違ヒマスル所ハ、餘裕金アルトキハ之ヲ以テ公債ノ利廻リヲ見テ公債ヲ購入スルコトガ必要ニナッテ居ル、サウ云フ關係カラ致シテ勅令ノ定ムル所ノ公債ヲ以テ保有スルト云フノガ簡易保險ト違フノデアリマス

○若宮委員 第四條デス

○安達國務大臣 第四條

○若宮委員 第四條一箇條ガ違フト云フコトノ爲ニ、特別會計法ヲ二ツニシナケレバナラヌト云フ理由ハ一寸御説明ダケデハ分リマセヌ、ソレヲ他ノ言葉ヲ以テスレバ、第四條ノ規定ガ郵便年金特別會計法ニ必要デアルト云フノナラバ、一緒ニ併合セラレテ、此四條ニ關スル規定ヲ御設ケニナレバ目的ヲ達スルヤウニ思ハレル、ソレヲヤルコトノ出來ナイト云フ根本ノ理由ヲ承リタイ

○川崎政府委員 私カラ御分リニナルカナラヌカ知ラヌガ申上ゲテ置キタイ、簡易保險法ノ大體經營ノ基礎トナルベキ死亡率、死亡利益、ソレカラ年金ノ方

ノ死亡率、死亡利益、是ハ若宮サン御承知ノ通り全ク逆デアル、ソレカラ事業經營ノ關係カラ言フト、簡易保險ハ小口デアッテ、非常ニ集金等ヤル關係上手數ガ掛ル組立ニナッテ居ル、隨テ附加事業費ト云フモノハ御承知ノ通り約二割掛リマス、是ハ多年ノ經驗カラ出タ二割デアリマス、年金ノ方ハ五分、此五分ノ事業經營費デ果シテ經營ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、是カラ後ノ問題デアル、ソコデ保險ノ方ハ長イ間ノ經驗デドレダケノ事業費ガ要ルカト云フコトハ、大體出テ居ル、年金ガ此見積リデ行ケルカ行ケヌカト云フコトハ疑問デアリマス、隨テ死亡ノ關係、事業費ノ計算モ大體出來テ居リマスケレドモ、是ハ實施シテ見ナケレバ分ラヌ

ノデ、其將來ノコトハドウ云フ統計ガ出テ來ルカ、此方ノ見込通り出テ來ルカ出テ來ナイカハッキリ分ラナイ、分ラナイモノヲ以テ分ツタモノト混ジテヤッテ行クト云フコトハ、是ハ雙方ノ不利益ヂヤナイカト思ヒマス、保險加入者ハ保險加入者トシテノ別ナ種類、別ナ手續、別ナ關係デ獨立シテ、サウシテ其事柄ニ依テ得ル所ノ利益ハ保險加入者ニ還付金トナリ、或ハ還付金以外ノ保險加入者ニ對スル利益ノ供給トナル、又年金ハ年金デ年金加入者ノ爲ニ利益ノ供給トナッテ行クト云フコトガ、是ハ加入者自體カラ見ルナラバ、其事柄ハ明白ニ區別シテ混淆ヲ避ケル方ガ寧ロ

加入者全體ノ希望ニ副フ所以デハナイカト思フノデス、根柢ハ其所ニアルト思フ、細カイ理窟ニナレバ色々ナ法律ノ規定ハ種類ガ異ナル爲ニ方法モ異ナル、又簡易保險ト年金トハ法令ノ關係カラ小サイ議論ハアリマセウガ、根本ノ關係ハ斯ウ言ッタヤウナコトデ分ケタ方ガ宜クハナイカ、而シテ資金運用ノ方法ハ簡易保險ノ方ハ限定サレタ方面、此方モ限定サレテハ居リマスガ、ソレハ主トシテ公債ノ購入デアリマス、斯ウ云フコトニナリマス別箇ニシテ置クコトガ宜イデハナイカ、計算ヲ明ニスル是ガ即チ特別會計ノ根本趣旨デハナイカ、特別會計ヲ起ス根本主義デハナイカ、斯様ニ見テ居リマス

○若宮委員 政府委員ノ言ハレル通りニ枝葉末節ニ這入レバ色々兩方ノ違ッタ點モ出テ來、事務ノ取扱上ノ違モアラウト云フコトハ吾々モ想像スルノデアリマス、私ハ特別會計ノ上カラ聞イテ居ル、色々御説明ニナリマスガ、此郵便年金特別會計法第一條カラ第六條マデ極リ切ツタモノデアアル、簡易保險ノ特別會計法モ何箇條カアリマシタガ、大概同ジヤウナ條數デ極リ切ツタモノデアアル、私ハ此點カラ御尋シテ居ル、一例ヲ申シマスレバ資金ノ運用ハ違フト思フ、違フカラシテソレヲ規定ニ御加ヘニナリサヘスレバ違フコトハ始末ガ出來ル、又今川崎政府委員ハ折角御説明デアリマシタケレドモ、茲ニ吾々ノ前ニ出サ

レテ居ル郵便年金特別會計法ト云フモノヲ拜見スルト、第二條「本會計ニ於テハ掛金、積立金ヨリ生スル收入及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ年金、返還金、事業取扱費其他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス」、吾ミノ見方粗末カモ知レマセヌガ、其外ニ國庫カラ補助スルトモ何トモ書イテナイラシイ、一寸拜見シタ所デハナイ、折角御説明ニナリマシタケレドモ、之ヲヤツテ御覽ニナツテドウナルカ、結果ハ分ラヌト云フ御説明ガアツタ、分ラヌ時ニハドウナル、此特別會計ハ破産スルカ、是ハマサカニサウ云フコトデハナイ、大概積立金ノ利廻ナリ其他ノ詳細ナル調査ノ結果、此特別會計是デ收支ノ始末ガ附クト云フ御算定ノ下ニ起キテ居ルダラウト想像スル、是ハ折角ノ御説明デアリマシタガ、其邊ハ一寸私共ハ納得シ難イ點ダト思フ、私が御尋シタイト思フノハ、特別會計法ノ範圍内デドウシテ是ガ合併出來ナイノカ、是ダケノ意味デアリマス

○川崎政府委員 私ハハッキリ分ッテ居ルト思ヒマスガネ、ドウ云フ點ニ於テ御了解ガ出來ヌノデスカ、甚ダ残念ニ思フノデスカ、年金法デ別ニ會計ハ立ッテ居ル、計算モ立ッテ居ル、計算モ立ッテ居リマスガ、其計算通り一厘一毛モ違ハズ出テ來ルカト言ヘバサウハ行カヌ、ソレハヤツテ見ナケレバ分ラヌ、利益ハドウ云フ風ノモノガ出テ來ルカ、

九分ノモノガ出テ來ルカ八分ノモノガ出テ來ルカ、ソレハ分ラナイ、若シ八分ノモノガ出テ來タ時ニ、又九分ノモノガ出テ來タ時ニ、其利益ヲ均霑スル者ハ何人ガスルカト云ヘバ、矢張年金加入者ガ均霑スルノデアル、ソレハ會計ガ獨立シテ居ルコトニ依テ出來ルコトデハナイカト思フ、混淆シテ居ッテハ出來ナイコトデアラウト思フ、特別會計ヲ殖ストカ殖サヌトカ云フ問題ハ、ソレヲ明ニシテ置ク程必要ガアルト思フ、其方ヲハッキリシテ置イタ方ガ宜イト云フ立前カラ來テ居リマス、ソレカラ先ハ議論ニナツテシマフノデスケレドモ、ドウモ是ハ特別會計ヲ別ニ設ケタ方ガハッキリシテ居ルト云フ意味デアリマス

○若宮委員 私更ニ御尋シタ積リデアツタノデスカ、此郵便年金特別會計法ノ規定ニ依リマススト云フト、川崎政府委員ハ此將來ハ分ラヌ、斯ウ云フ御答辯デアリマスガ、若シ歲入ヲ以テ其歲出ニ充テタルコトガ出來ナクナツタ時ニ、政府ハドウナサル積リデアアルカ

○川崎政府委員 是ハドウモ其所ハ若宮サンガ私ノ言葉ヲ非常ニ誤解サレテ居ル、私ノ分ラヌト言フノハ、大體計算ノ基礎ハ立ッテ居ル、立ッテ居リマスケレドモ、立ッテ居ル基礎通り一厘一毛モ違ハズ出テ來ルモノデハナイ、是ダケハ御承知ヲ願ヘルダラウト思フ、ソレデ申上ゲタノデス

○若宮委員 或ハ私大變誤解シタノカ知レマセヌガ、御言葉ヲ答メル所デハアリマセヌガ、當初御説明ニナツタ時ニ私ハサウ聴イタ、速記ヲ見レバ分リマスガ、私が誤解ナラバ御詫ヲ申上ゲマスガ、貴方ガ先刻御説明ニナツタ時ノ意味ハ斯ウデヤナカッタデスカ、簡易保險ト云フモノハ十餘年モヤツテ既ニ模様ハ分ッテ居ル、所ガ是ハ新規ニヤルノダカラ分ラヌ、既ニ結果ノ分ッテ居ルモノト分ラヌモノヲ一緒ニスルノハ困ルト云フ御趣意デハナカッタカト思フ、ソコデ之ヲ拜見スルト、之ニ付テ國庫カラ補助スルトモ何トモ書イテナイ、矛盾ガアル、之ヲ御尋シタノデアリス、是ハ私ノ誤解デアアルナラバ御詫シテ止メマス、如何デアリマス

○川崎政府委員 其事ニ付テハ前回ニ私ハ詳シク御説明ヲ申上ゲテ居ルノデスカ、例マデ引イテ申上ゲテアリマス、此郵便年金ノ法ニ依テ大體統計カラ割出シタ、假ニ死亡率ノ關係ヲ言フナラバ、國民ノ死亡シテ行ク統計ニ對シテ二割ダケ減少シタモノヲ見テ居ル、其基礎ニ立ッテ居ル、併ナガラ是ハ假ニ二割デナクテ國民ノ死亡率ト同ジヤウナ統計ガ出テ來タ時ニハドウナルカ、其時ニハ年金經營ハ豫定ヨリモ利益ガ多カッタ、斯ウ云フコトニナル、又賦課率ヲ百分ノ五ト見テ居ルケレドモ、此賦課率ハ、或ハ儉約シテヤッタナラバ百分ノ四デ出來ルカモ知レナイ、スルトソコ

ニ一分ノ利益ガ出テ來ル、其利益ハ何人ガ均霑スルカト云ヘバ、年金加入者ガ均霑スベキ利益デハナイカ、斯ウ云フ風ニ說イタノデアリマス、サレバ全ク分ラヌト云フコトヲ申上ゲタノデヤナイ、利益ガ出タ時ニハソレヲ誰ニ分割スルカト云フ問題ヲ說イタノデアリマスルカラ、所謂此會計ヲ特別ニスルト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、利益ヲ如何ニシテ適當ナル方面ニ配當スベキカト云フコトニ歸スルノデアリマス、ソレデ、簡易保險デモ最初立テタ豫定死亡表ニ依テ實行シテ居リマスガ、併ナガラ大正七八年ノ流行病ノ時ニハ豫定死亡率ヨリ餘計ニ殖エタ、又大正十二年ノ震災ノ時ニモ豫定ヨリ殖エタ、サウ云フコトニ依テ此統計ハ破ラレル場合ガアルカラ、將來必シモ年金ハ此規定通りト云フコトハ出來ナイ、永イ間ヤツタ統計ヲ見ルナラバ、大體豫定通りニナリマセウガ、實際ニ於テ其間ニ多少ノ相違ハ出テ來ルガ、要スルニ一生懸命ニナツテヤツテ、事業經營費等ヲ減ラシテ、其結果出テ來タ利益ハ何處ニ行クカト云ヘバ、矢張年金加入者ニ行クト云フコトガ宜シイノデヤナイカ、斯ウ云フ意味カラシテ會計ハ別ニシタ方ガ宜イノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○若宮委員 私ノ質問ノ仕方ガ惡イノカ知レマセヌガ、ドウモ私ノ御質問申上ゲテ居ル所ト、御答辯トノ間ニハ誤

解セラレテ居ルノデハナイカト思ハレ
ル節ガアルノデアリマスガ、ソレハソ
レトシテ、私ノ申上ケル趣旨ヲ根本的
ニ申上ゲタナラバ、御答辯ガ明瞭シ
ハセヌカト思ヒマスガ、私共ノ念頭ニ
浮ブ所ハ、是ハ固ヨリ社會政策ト云フ
點カラ出發シテ居ル所ノ制度デアラウ
ト思フ、先日モ御確メシテ置キマシタ
通り、マサカニ是デ政府ハ金儲ヲ爲サ
ラウト云フ御趣意デヤラレテ居ルノデモ
ナケレバ、其他ニ何等カノ目的ガアッテ
セラレルノデモナイト思フ、ソレデア
リマスルガ故ニ、此社會政策ト云フ大
キナ目デ御覽ニナッタナラバ、此事ガ社
會政策ナラバ、簡易保險モ亦社會政策、
又其他ニ於テモ今後色ミセラレル社會
政策モアリマセウガ、是等ハ國家ト云
フ目カラ見テ行ツタナラバ、互ニ共通シ
テ、相助ケ合フコトガ出來タナラバ益
宜イノデヤナイカ、唯アナタ方ノ頭ノ
中ニ、簡易保險ナラ簡易保險ト云フモノ
ノミヲ引離シ、年金ナラバ年金ト云フモノ
ノダケヲ切離シテ御覽ニナルカラ、御意
見ノ如キコトガ出テ來ルノデヤナイカ、
是モ亦一種ノ見方デアラウト思ヒマスガ、
國家ガ何モ他ニ目的ガアルニアラズ、國
民ノ生活ヲ安定セシメルト云フ社會政策
ヲ施ストノ趣意デヤッテ行カレルナラバ、
是等ヲ統括シテ其目的ヲ達スルヤウニ
セラレテ一向差支ナイヤウニ思フ、此
事ガ私ノ頭ノ根柢ヲ成シテ居ルノデ、此
意味ニ於テ御質問申上ゲテ居ルノデア

リマス、ソレデ若シ斯様ニ御覽ニナッタ
ナラバ、既ニ逕信省ニ於テ所管セラレ
テ居ル所ノ簡易保險ト云フモノモ社會
政策、此年金ト云フモノモ社會政策デ、
過日ハ何ダカ違ッタクヤウナ御説明ガアッ
タケレドモ、ソレハ御考違ヒデアラウ
ト思フカラ、此點ヲ確メテ、兩者共ニ社
會政策ノ爲ニセラレルモノデアリ、今
後ニ於テモ種々ナル社會政策的ノ保險
等ガ出來テ來ルカモ知レヌガ、ソレ等
ヲ別々ニシテ經營シテ行カレルヨリハ、
一緒ニシテセラレル方ガ宜クハナイカ、
斯ウ云フコトガ質問ノ要點デアリマス、
之ニ對シテ御答辯ヲ得レバ、後トハ言
葉爭ヲスル必要ハナイカト思ヒマス
○今井田政府委員 私ヨリモ尙ホ御説
明申上ゲマスガ、只今ノ御話ニ依リマ
スト、簡易保險ト是トヲ一緒ニシテ經
營シタナラバドウカト云フヤウナ御説
明ノヤウデアリマスガ、簡易保險ト一
緒ニシテヤリマス、簡易保險ノ契約
者カラ取リマシタ所ノ經費ノ中カラ、或
ハ年金ノ方ノ契約者ノ費用ヲ支辨スル、
又其反對ニ年金ノ契約者カラ徴收シタ
經費ノ中カラ、簡易保險ノ方ノ費用ヲ
支辨スルヤウナコトニナッテ、兩者ヲ混
同流用スルヤウナ結果ヲ來シハシナイ
カ、而シテ此混同ヲ防グガ爲ニ特別會
計ニスルノデアリマス、簡易保險ハ年
金トハ其性質ガ異リマスシ、又加入者
ノ階級モ自ラ違ッテ來ルダラウト思ヒ
マス、サレバ斯ル相違點ヲ有スル兩者

ハ、各々之ヲ區別シテ、相互ニ混同サセ
ナイヤウニスルコトガ最も必要ダラウ
ト考ヘルノデアリマス、隨テ此法文ハ
簡易保險ト殆ド同一デアリマスルガ、
本法第二條ニ於テハ「本會計ニ於テハ
掛金、積立金ヨリ生スル收入及附屬雜
收入ヲ以テ其ノ歲入トシ年金、返還金、
事業取扱費其他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出
トス」ト云フヤウニシテ、之ヲ特別會計
ト爲シテ、簡易保險ト相互ニ流用スルト
云フコトヲ禁ジタノデアリマス、即チ
種々異ツタ團體ガ、互ニ他ノ目的ノ爲ニ
其費用ヲ使ハレルト云フ結果ヲ生ズル
カラ、サウ云フコトノ出來ナイヤウニ
之ヲ特別會計トシタノデアリマス、法
文ハ兩者大體同ジデアリマスケレドモ、
之ヲ斯ク區別シタ趣旨ハ全ク其點ニ存
スルノデアリマス、ソレカラ歲入ノ關
係デアリマスルガ、先程モ御話ガアリ
マシタヤウニ、此條文ノ中ニハ一般會
計ヨリ繰入レル金ヤ、或ハ借入金ト云
フヤウナ條文ハナイノデアリマスルガ、
是ハ將來五箇年間マデノ豫算ノ計算ヲ
立テ、見マシタガ、年金契約ニ依ル掛
金、積立金等ノ收入ニ依テ、此事業費
等ノ支出ヲ支辨スルコトガ出來テ、借
入金又ハ一般會計カラ繰入レル金額ヲ
必要トシナイト云フ確信ガ付キマシタ
カラ、サウ云フ規定ヲ置カナカッタノデ
アリマスガ、併シ天災事變、又ハ非常ナ
ル事ノ起リマシタ場合——萬一サウ云
フヤウナコトモナイトモ限ラナイガ、

大體サウ云フ事ハナイト云フ確信ヲ以
テ居リマスガ、事實萬一ノ場合ニハ更
ニ此法律案ヲ改正シテ、御協賛ヲ願ツタ
ナラバ如何カト考ヘマス
○若宮委員 今井田政府委員ニ今一ツ
簡單ニ伺ヒマスガ、積立金ノ運用ノ點
カラ兩者分離セネバナラヌト云フヤウ
ナ御答辯ニナッテ居リマスルガ、其點ニ
付テハ實際ニ實行ハ困難デアル、是ハ
決シテ言葉答メヲスルノデモ何デモナ
ク、事實デアルト思ヒマスガ如何デス
カ
○今井田政府委員 運用モ自ラ異ッテ
參ルト申シマスノハ、此方ニ於キマシ
テハ主トシテ公債ノ方ニ使用スルノデ
アッテ、是ハ其事業ノ立前ガサウ云フ風
ニナルノデアリマスガ、簡易保險ノ方
ニ於テハ、立法當時説明致シマシタ通
リ、運用モ成ベク社會政策的ニスルト
云フ意味ガ含マレテ居ルノデアリマス
ガ、此方ハ、場合ニ依テハサウ云フコト
ニスルカモ知レヌガ、主タル目的
ハ公債ニ供スルト云フノデアッテ、其運
用ハ自ラ異ルト申シテ宜カラウカト考
ヘマス
○若宮委員 サウスルト、是カラ段々
此業務ガ繁榮シテ來ナケレバナラヌ、
又斯クスルコトヲ吾々ハ希望スルノデ
アリマスルガ、繁榮シタ結果積立金ハ
漸次増加シテ來ルト云フコトモ疑ナイ
ノデアリマスガ、其増加シ來ツタ積立金
ヲ全部公債トサレル積リデアリマスガ、

或ハ又其一部ハ之ヲ他ニ貸付ケルナリ、何ナリニ運用ノ途ヲ取ラレルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○今井田政府委員 豫定利率ガ一時拂ノモノハ公債ノ時價ニ依ル、是ハ料金ノ拂込ガアリマシタ當時直ニ公債ヲ購入致シタイト思ヒマス、而モ大部分ハ一時拂ノ收入デアル、サウ云フ結果ニナリマスカラ、收入掛金ノ大部分ハ公債即チ地方債又ハ國債ニナルノデアリマスガ、分割拂ノ分ハ翌年度ニ於キマシテ積立金トシテ或ハ公共事業ニ投資スル場合モアリマス、兎ニ角法文ニ於キマシテハ公債ノ投資又ハ公共事業ニ貸付ケルト云フコトニ規則ハ設ケル積リデアリマス、隨テ一般公共事業ニ對スル貸付ガ無イト云フコトハ申上兼ネマス、有リマシテモ極ク少部分デアラウト思ヒマス

○若宮委員 此郵便年金令草案ノ九條デアリマスガ、其二項ニ「掛金一時拂ナルトキハ市場ニ於ケル公債ノ時價ニ準シ逓信大臣ノ定ムル豫定利率」トアリマス、是ハ公債ノ時價ヲ見、其利廻ヲ見ラレテ利率ノ算定ノ標準ニサレルモノト思フ、デアリマスカラ多クノ場合ニ於テ公債ハ直ニ購入シナイデ、間違ノ無イコトニサレルト思ヒマスガ、此「準シ」ト云フ書方ヲ表面カラ見マスト、利率ガドウ云フ時ニ公債ヲ買入レナケレバナラスト云フ規定ガ、何處カ外ニアルカドウカ知レマセヌガ、此條ニハ現ハレテ居ラ

ヌ、是ハ如何デスカ

○今井田政府委員 勅令ニアリマスガ「公債ノ時價ニ準シ」ト云フ規定ハ、實際ノ運用ニ付テ御話致シマス、今ドウ云フ利率ヲ逓信大臣ガ定メルカト云ヘバ、現在ノ公債利廻ト云フモノガ六分一厘餘ニナツテ居リマス、又地方債ハ七分二厘乃至七分三厘ニナツテ居リマスガ、サウ云フ國債及地方債ノ利率ヲ參酌シテ、國債ハ凡ソ三分ノ二、地方債ハ三分ノ一ヲ持ツヤウニシタイト思ヒマス、サウシマス、現在六分一厘及七分二厘ト云フノ地方債及國債ノ利廻カラ勘定致シマス、六分二厘位ニナルノデアリマス、サウスルト豫定利率ヲ如何ニスルカト云ヒマス、之ヲ六分位ニシタイノデアリマス、多少内輪ニシタイト思ヒマス、ソレハ何故カト云ヒマス、掛金ガ拂込マレテ公債ヲ買フマデノ間ニ、所謂利ノ附カナイ金ガ一時郵便局ニ入レテアル譯デアリマス、サウ云フ事ノ爲ニ多少ノ餘裕ヲ取ル必要ガアリマスカラ、幾分カ低イ利廻デ豫定スル考デアリマス、ソレデ實際ニ於テハ五分二厘五毛、五分五厘、六分二厘五毛、六分五厘ト云フヤウナ豫定利率ノモノヲ拵ヘマシテ、其時ニ依テ計算シテ何日カラ此表ヲ使フ、何日カラ此表ヲ使フト云フ事ニシテ、之ヲ全國ニ示ス、サウシテ其時ノ表ニ依テ掛金ヲ定メル、斯ウ云フ事ニシテ實際ノ運用ヲシタイト思ヒマス、サウシタ

結果其當時ニ於テ利率ガ豫定サレマス、豫定利率ニ代ルベキ公債ヲ購入スル必要ガ起ル、ソレデ公債保留ト云フ特別ノ規定ヲ設ケタ譯デアリマス

○若宮委員 次ニ伺ヒマス、ハ「掛金分割拂ナルトキハ年五分ノ豫定利率」トアル、此方ハ五分ト確定ニ見テ御キデニナル、是ガ五分ト云フト今日ノ世間ノ利息カラ見マス、一般ノ貸付利率ナドヨリハ遙ニ低イ、サウ致シマス、此方カラ生ズル積立金ノ如キハ世上カラ見ルト俗ニ謂フ低利資金ニナリ得ルモノトハ思ヘナイ、是ハ低利資金ノ運用ト云フ事ノ爲ニ貸付ケラレナイデ、矢張公債ナリサウ云フ類ノモノヲ以テ留保セラレルト云フ趣旨デアリマスカ

○今井田政府委員 分割拂ノ方ハ利率ガ安クナツテ居リマス、分割拂ハ是ハ三歳カラ加入シテ五十歳マデ年々少シジ、拂込ムノデアリマス、其拂込ノ都度ノ公債相場ニ依ルト云フコトハ非常ニ計算ガ面倒デアリマス、其爲ニ一律ニ五分——五分ハ低イノデアリマスガ、公債ノ利廻ノ變動ヲ遡テ見、又將來ノ計算ヲ致シマスレバ、先ヅ五分位ガ適當デアラウト定メタノデアリマス、ソレデ其分ニ對シテハ翌年度ニ年金ヲ持越シテソレヲ公共事業ニ運用シテモ宜カラウト思ヒマス、一時拂ノモノトハ多少運用ノ取扱ヲ異ニシテモ差支ナイ積リデアリマス

○若宮委員 サウ承ツテ見マス、資金運用ノ仕方ガ簡易保險ト實際ガ違フト云フ御説明ト矛盾スルヤウニ思ハレル、矢張五分ト豫定サレ、バ宜イト云フナラバ、今ノ通り資金ノ利率カラ見レバ低イノデアル、是ハ公益ノ爲ニ運用サレルト云フコトハ當然豫期サレルコトデアリマスガ、ソレガドウシテ簡易保險ノ積立金ノ運用ト性質ガ違フノデスカ

○今井田政府委員 全然性質ガ違フト云フノデハナクシテ、寧ロ程度問題デハナイカト思ヒマス、簡易保險ニ於キマシテモ積立金ノ約一割ハ公債ヲ以テ保留スルト云フ方針ヲ執ツテ居リマシテ、現ニ約一割ハ公債及地方債ヲ買ツテ居リマス、此年金法ニ於キマシテハ寧ロ逆ニ公債ヲ以テ保留スル分ガ大部分デハナイカト思ヒマス、假ニ十五年度ノ豫定デアリマス所ノ積立金ガ幾ラカト云ヒマス、百四十萬圓デアリマスカ、其中ノ百三十四萬圓ハ一時拂カラ生ズルモノニナツテ居リマス、又分割拂カラ出ルノハ漸ク十三萬圓デ、全體ノ一割位デアリマスカラ、此分割拂ノモノヲ公共事業ニ貸付スルトシテモ、總積立金ノ約一割ニ當ル位ト思ヒマス、簡易保險トハ寧ロ反對ナ現象ヲ生ズル事ニナリマス、詰リ程度ガ異ツテ居ルノデアリマス、程度ノ異ツテ居ルノハ種類ノ相違デアルト見テ宜カラウト思ヒマス

○作間委員長 如何デゴザイマセウ、最早正午ニ近ヅキマシテ、サウシテ本黨ノ御方ハ御差支ガアリマスサウデスカラ、尙ホ質問ヲ續行スル事ニ致シマシテ本日ハ……

○若宮委員 ソレデハ今一言ダケ伺ヒマスガ、モウ少シ率直ニ御答辯ヲ得タイノデス、只今ノ政府委員ノ説明ニ依リマシテモ、唯程度ノ違ヒデアツテ、運用ニ付テ性質ハ違ハナイト云フコトヲ答辯セラレテ居ルノデアリマスガ、モウ少シ率直ニ——前回來吾ミノ同僚カラ、何ガ故ニ簡易保險ノ特別會計ト此年金ノ特別會計ヲ一緒ニセラレル事ガ出來ナイノカト云フ質疑ニ對シテ、政府當局ハ頻ニ此積立金ノ運用ノ性質ガ違フト云フ意味ノ答辯ヲセラレテ居ル、ソレハ間違ヒト申スト言葉ハ穩カデナイカモ知レスガ、ソレ程ノ問題デナイト云フ事ヲ率直ニ御答辯ニナッタラ如何デアリマスカ、私ハ是ダケヲ申述ベテ後トハ保留シテ置キマス

○今井田政府委員 只今御説明致シマシタ通り、積立金ノ運用ガ全然性質ノ異ツタモノデハアリマセヌガ、一方ハ大部分ヲ公債ヲ以テ積立テマスシ、一方ハ極ク一部ヲ公債ヲ以テ積立テルト云フコトデ、程度ノ差ガ非常ニ多イノデアリマス、程度ノ差ノ非常ニ多イモノハ或ハ性質ノ相違ト看做シテ差支ナカラウト考ヘマス、併シ此點ガ主ナル理由デ特別會計ヲ異ニシタノデハアリマ

セヌ、全ク加入者團體ヲ異ニシテ居リマスノデ、一方ノ人カラ取ツタ所ノ經費ヲ以テ他ノ目的デ設ケラレタ用途ニ流用スルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、全ク別個ノ加入者團體ニ別個ノ會計ヲ立テルト云フ立前カラ之ヲ別ニシタノデアリマス、法文ノ第二條ニアリマス通り、其收入ヲ以テ歳出ヲ支辨スルト云フ所ニ區別シタ理由ガアルノデアリマス、ドウカ其邊デ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○作間委員長 ソレデハ尙ホ質問ヲ續行スルコトニ致シマシテ、本日ハ此程度ニ止メテ置キマス、次回ハ明後日ニ致シマスガ、其時間ハ追テ公報デ御通知申上グルコトニ致シマス、本日ハ之ニテ散會致シマス

午前十一時五十二分散會

大正十五年三月六日印刷

大正十五年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社